

第 5 回薬学教育協議会・医薬品情報学教科担当教員会議議事録

日 時:平成 27 年 6 月 26 日 (金) 14:30~17:00 (受付:14:00 から)
会 場:就実大学 S 館 1 階
〒703-8516 岡山市中区西川原 1-6-1 ☎:086-271-8111(代)

出席者:全国 61 大学・薬学部から 72 名の教員が出席した。

1. 医薬品情報学教科担当教員会議 実行委員長 手嶋大輔(就実大学)から開会の挨拶があった。
2. 担当校である就実大学薬学科長の塩田澄子先生から挨拶があった。

3. 後藤伸之先生(名城大学)の司会で、グループ討論1「医薬品情報学関連領域とは」およびグループ討論2「医薬品情報学関連領域における知識習得度の評価について」について説明があり、議論のタイムスケジュールが提示された。討論1および討論2はいずれも40分間で、2つの討論が終了後作成されたプロダクトの発表が各グループからなされ、活発な質疑応答が展開された。

あらかじめ各教員の得意分野についてアンケートがとられ、その結果に基づいてグループ分けがなされた。グループ1:情報、情報源、グループ2:収集・評価・加工・提供・管理、グループ3:EBM、グループ4:生物統計、グループ5:臨床研究デザインと解析、グループ6:医薬品の比較・評価、グループ7:患者情報、グループ8:個別化医療

(討論1)KJ法に従い、医薬品情報学関連領域のキーワードが提示され、それぞれの関連性を討議しながらグループ化を行った。

(討論2)あらかじめ各教員から医薬品情報学関連領域における知識習得度を評価するための試験問題を提示してもらい、各グループで試験問題としての妥当性を討議した。

なお、各グループ報告者よりプロダクトおよび議論の内容等の詳細な報告を受け、『第5回医薬品情報学教科担当教員会議報告書』として取りまとめたので別紙のとおり報告する。

4. 次年度、第6回薬学教育協議会・医薬品情報学教科担当教員会議の担当校である昭和薬科大学薬学部の山本美智子先生から挨拶があった。
5. 医薬品情報学教科担当教員会議委員長の山田安彦先生(東京薬科大学)から閉会の挨拶があった。
山田先生は今回をもって医薬品情報学教科担当教員会議委員長を辞任され、新たに名城大学の後藤伸之先生が委員長に就任されることとなった。

(文責:手嶋 大輔)

平成27年度(第5回) 医薬品情報学教科担当教員会議 出席者一覧

氏名	大学名
武隈 洋	北海道大学
黒澤 菜穂子	北海道薬科大学
小林 道也	北海道医療大学
工藤 賢三	岩手医科大学
村井 ユリ子	東北大学
高橋 則男	奥羽大学
富岡 節子	いわき明星大学
坂爪 重明	新潟薬科大学
堀 里子	東京大学
岸野 吏志	明治薬科大学
橋口 正行	慶應義塾大学
櫻井 正太郎	星薬科大学
白水 俊介	星薬科大学
石塚 和美	星薬科大学
加藤 裕久	昭和大学
吉山 友二	北里大学
岩澤真紀子	北里大学
山田 安彦	東京薬科大学
山本 美智子	昭和薬科大学
山本 健	昭和薬科大学
大室 弘美	武蔵野大学
泉澤 恵	日本大学
日高 慎二	日本大学
吉尾 隆	東邦大学
佐藤 嗣道	東京理科大学
荒川 一郎	帝京平成大学
佐田 宏子	城西国際大学
生城山勝巳	千葉科学大学
大島 新司	城西大学
川井 龍美	日本薬科大学
土井 信行	高崎健康福祉大学
鈴木 義彦	帝京大学
山田 浩	静岡県立大学
新田 淳美	富山大学
松下 良	金沢大学
毎田 千恵子	北陸大学
菊池 千草	名古屋市立大学

氏名	大学名
後藤伸之	名城大学
大津 史子	名城大学
田辺 公一	名城大学
長田 孝司	愛知学院大学
中村 光浩	岐阜薬科大学
長南 謙一	鈴鹿医療科学大学
一川 暢宏	立命館大学
橋詰 勉	京都薬科大学
矢野 育子	京都大学
松元 加奈	同志社女子大学
高田 雅弘	摂南大学
恩田 光子	大阪薬科大学
栗原 晶子	武庫川女子大学
森山 雅弘	兵庫医療大学
藤野 秀樹	兵庫医療大学
木下 淳	姫路独協大学
橋本 保彦	神戸学院大学
手嶋 大輔	就実大学
毎熊 隆誉	就実大学
片山 博和	福山大学
猪川 和朗	広島大学
佐和 章弘	広島国際大学
新井 茂昭	安田女子大学
山内 あい子	徳島大学
佐藤 陽一	徳島大学
京谷 庄二郎	徳島文理大学
吉岡 三郎	徳島文理大学
飯原 なおみ	徳島文理大学香川
山口 巧	松山大学
江頭 伸昭	九州大学
右田 啓介	福岡大学
川上 茂	長崎大学
岩下 淳二	長崎国際大学
中嶋弥穂子	崇城大学
下堂 蘭椿洋	九州保健福祉大学